

令和6年度学校評価シート

1 学校教育目標

- (1)スクール・ミッション
「自己を知り 自己に培い 社会を知り 社会を愛せ」の理念のもと、確かな学力、主体性・協調性、課題発見・解決能力、論理的思考・判断力、コミュニケーション能力を備え、グローバルな視点で地域の魅力を伝える発信力を発揮し、地域の課題解決に貢献できる人材を育成する。
- (2)スクール・ポリシー(三つの方針)
ア 育成をめざす資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)
(ア)自ら目標を定め、未来を切り拓く力を育成する。
(イ)地域の課題解決や地域に貢献できる力を育成する。
(ウ)グローバルな視点と地域の魅力を発信する力を育成する。
- イ 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)
(ア)多様な生徒の基礎基本の定着を図るため、習熟度別学習・少人数授業・同室複数指導を実施する。
(イ)課題発見・解決能力や論理的思考・判断力を育成するため、地域と連携した探究活動等を実施する。
(ウ)発信力やプレゼンテーション力を育成するため、ICT活用授業の研究推進の取組を実施する。
(エ)主体性・協調性・コミュニケーション能力を育成するため、海外を含む外部機関等と連携して実践的・体験的な学びを実施する。
- ウ 入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)
(ア)何事にも誠実に向き合い、主体的に探究する意欲を持つ生徒を募集する。
(イ)互いに認め合い、高め合う意欲を持つ生徒を募集する。
(ウ)学習だけでなく、特別活動や部活動など、自らの目標に向かって最後までやり抜く生徒を募集する。

2 重点目標

- ア 第4期「ひょうご教育創造プラン(兵庫県教育基本計画)」の基本理念「兵庫が育むところ豊かで自立する人づくり」の実践に向け、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成することに加え、キャリア教育、特別支援教育を含め、総合的に「生きる力」を醸成し、『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力を育成する。
- イ 文部科学省の令和元年度「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」の指定を受け、持続可能なふるさとづくりのための人づくりを推進する。平成30年度より導入した「観光・グローバル類型」(全県から生徒募集)と「地域探究類型」では、生野銀山や竹田城など観光資源豊かな朝来市にある本校から、グローバルな視点とともに地域の魅力を伝えられる発信力を持った人材や地域の課題解決に向けた提案ができる人材を育成する。
- ウ 「自ら考え、未来を切り拓いていくことができる生徒」「地域を愛し、地域の担い手となる生徒」「グローバルな視点を持ち、自らの言葉で語ることが出来る生徒」を育成する。

3 学校自己評価結果(5…よくできた 4…できた 3…どちらともいえない 2…あまりできなかった 1…できなかった)及び学校関係者評価

分野	価内	評価			学校の取り組み状況・改善の方策	学校関係者評価
		R6	R5	R4		
① 基本的生活習慣の確立	・ 挨拶の励行、交通マナーの向上など社会性の育成や、基本的生活習慣の確立	3.5	3.8	4.2	・立ち番が1学期しか実施されていない。 ・立ち番の回数が減っているように思います。 ・昨年に比べ、朝のあいさつ立ち番をする教員が減った。 ・駅周辺や正門・通用門・昇降口付近での立ち番をしてもいい。(挨拶・交通マナー)職員を4班に分けて週1程度で実施すると、月に1回程度しか回ってこないなので、それほど負担は大きくない。 ・教員の立ち番などあったが、生徒会などでも活動してもよいと思う。 ・交通マナーはこまめに指導していく必要があると思います。今年秋の交通立ち番が無かったような気がします？ ・教員個人による見回りで気づいたことや、地域の方からの声を学年と共有し、生徒に伝えることは行われている。 ・あいさつも年々しない生徒が増えてきているように感じるので指導していきたい。 ・あいさつをもっと積極的にできてよいと感じる。 ・教師からの声掛け、挨拶を活発にしていきたい。ちょっとした一声が人間関係を豊かにすると思います。 ・挨拶ができる生徒が増えた印象がある。掃除をする、授業前に黒板を消す、など学校では当たり前…と思えることも、なかなか徹底できていないと感じる。「マナーを守ることがカッコいい」「マナーを守らないことはカッコ悪い」という風土を築きたい。 ・駅前のコンビニで買ったものを歩きながら食べたりしないように常識的なマナーを指導する必要がある。 ・先生方個々や学年単位で工夫して支援・指導しておられるが、学校全体としての規定が曖昧なままの部分があるため、全教員ができる限り同じ基準で指導できるよう規定を明確にすべき。 ・校則では「高校生らしい」という風にぼかされている内容が多く、どこまで許しているのかもわからないから指導が難しい。先生たちで一貫性を持つためにも共通の認識をもてるための何かがあればと思う。 ・教師間で基準が揃っていないくても「私はこれは気になる」とことは伝えるべき多と思う。「守らせる指導」から「考えさせる支援」につなげたい。 ・清掃活動がおろそかになっている生徒がいる。自分たちの環境を自分たちで守る精神は、国際的にも高い評価を受けている。面倒でも指導を徹底すべきである。 ・生活リズムが乱れている生徒も見受けられる。幼い部分が多くみられる。社会性の育成などにつながる指導をしていきたいと思う。	・登校時、すれ違ったら、しっかり挨拶が返ってくる。 ・社会性の育成としても挨拶は重要であると考ええる。生徒会中心に立ち番をする考えは素晴らしい。「当たり前を当たり前」にできる」指導を今後も続けてほしい。 ・年々評価が下がっている。挨拶の徹底を再度してみては。 ・交通マナーはより指導をするべき。道に広がって歩いている姿をよく見かける。 挨拶に関しては生徒によってできるできないのムラがあるように感じる。 ・挨拶は基本中の基本であるため、年々評価が上がるように努力してほしい。
② 自ら目標を持って学ぶ力の育成	・ 目的意識を持った学校生活や行事への取り組み	3.9	4.0	4.1	・探究活動は、生野高校の独自性を高めようという意識が、学校全体に広まってきているように感じる。 ・探究活動については、学校全体で情報を共有しながら、生徒の自主性を大切にして実行できていると思われる。 ・ゆめいく活動が少しづつ進化し、生野高校の柱の一つになってきている。 ・学校行事、ゆめいくなど大変盛り上がっていると思う。 ・ゆめいくの活動は生徒の主体性を育む上でとても大切だと思う。とてもよい取り組みだと思うが、担当教員の大変さも感じる。 ・探究活動をやったことにより面接等進路では役に立った。しかし負担なのも確かです。 ・「目的意識を持った」と言われるとよくわからない。ゆめいくは先生側はすごいが、生徒は一部だけ。やはりめんどくさそうにしている子が多い。 ・目標を持って物事に取り組んでいる生徒が少ないと思う。言われたことだけをする生徒が多い。	・部員の減少による活動内容の制限は但馬全体の問題だと感じる。同じ課題を持つ学校同士で合同チームでの活動を考えることも策の一つではないか。 ・ゆめいくに関して、なぜ生徒がめんどくさく感じるのか考えるべき。
	・ 課題解決型の学び、探究活動の推進	4.4	4.1	4.4	・生徒数が少ない中での部活動は、特に運動部が大会への出場が難しいことがあり、課題が残る。部活動については、生徒数・教員数に対して部の数が多いのかもしれない。 ・部を減らすことは難しいはずなので、運動部での兼部を積極的？に認める。もちろん、生徒・保護者・顧問の理解の上で。 ・部活の数は多いが人数が少なく、大会出場が困難になりつつある。 ・人数不足のところもあるので、運動部同士の兼部を認めてはどうか。 ・部に所属していない生徒が多い、部活が盛り上がりれば良いと思う。 ・部活はそもそも入っていない子が多いし、どんどん辞めていく生徒の積極性があまり見えない。 ・部活動の再編が必要なのではないかと感じる。生徒数を考えると部活数が多いため、どここの部活も人数不足で困っている。「部員が競技人数の半数を～年連続で下回ったら同好会にする」など具体的な基準を設けても良いのではないか。 ・生徒数に対して部活動の数が多く、どの部も人数が足りない状況にある。部活動の再編を考える必要があるのではないのでしょうか ・部活動は生徒、教員の人数が少ない中、どうなったら活性化なのか考える必要があると思う(大規模校と同じことはできない)。 ・部活動の数に比べ部員数が少ない。部活動ごとの目標・あり方が生徒に伝わっていないように感じる。再度、部活動ごとに活動方針を明確にしていく必要があると考える。	・ゆめいく活動は活気があってとても良いと感じる。地元企業との交流をさらに推進してほしい。 ・ゆめいく活動は高く評価できる。今後も充実した取り組みをし、地域創生に貢献できるようにしてほしい。
	・ 部活動の活性化	3.4	2.9	3.2		

分 野	価 内	評価			学校の取り組み状況・改善の方策	学校関係者評価
		R6	R5	R4		
③ 人づくりの基盤としての道徳性の育成	・ 人権HRを通した人権意識の高揚	3.8	3.3	3.6	・人権訪問指導もあり、人権HRIについての取り組みができていたと思う。 ・今年度は人権HRが活発であった。 ・学年単位で人権HRを計画、実施している。 ・2時間しっかり人権HRができて良かったです。 ・コロナ禍のあおりを受け、映画鑑賞や芸術鑑賞が事実上なくなったが、「心の教育」を充実させるためにも、このような機会を再開できないか。 ・年度当初に、生野高校の人権に関する方針についてオリエンテーションを実施してはどうか。 ・拡大学年団をつくり、人権教育HRを複数人で行えば、価値観の広がりを共有することができるかもしれない。 ・人権HRの計画が見えない。	・人権意識はすべての根幹になるので、継続して取り組んでほしい。 ・人権問題について、聞く・見るだけでなく体験活動をするのが重要だと感じる。 ・人権学習を生涯学習として取り組むための学校の方針をしっかりと定めておくことが必要だと感じる。
④ 主体的に学ぶ態度や学習習慣の育成	・ 家庭学習習慣及び自ら学ぶ姿勢の確立	3.4	3.3	3.4	・主体的に学ぶ姿勢を作れる掲示物や、環境整備を行う。 ・応接室を利用した「自習室」の設置は良かったと思う ・職員室の近くの応接室を自習室として活用することで、生徒は質問をしやすくなったと思われる。 ・家庭学習を促す取り組みは複数取り組んでいるが、成果につながらないケースが多い。課題ではない手段で主体的な学びにつながるきっかけづくりを授業等で行えればと考えている。 ・テスト前等は進んで勉強している様子を見るが、普段お学習習慣はあまり見についていないように感じる。 ・定期考査前になると質問をしに来ることがあるようだが、それ以外の期間での家庭学習についてはできていないように感じる。 ・教科課題や週末課題を出して何とか家庭学習の習慣がつくように努力をしたが、現実には考査前くらいしかやっていない。課題が出たからやるというだけで自ら学ぶという意識にほど遠い。 ・全生徒がスタディサブリに参加しているため、生徒は自分に合ったレベルで学習することができる。 ・スタサブを利用し、生徒の個々の状況に応じた課題を配信したり、朝の学習の時間を工夫したりして、自学自習の意識づけを試みている。 ・スタディサブリの活用等、改善ははかられていると思う。しかし、生徒は受け身であることが多く課題の提出率も低い。自主的に取り組めるような対策を講じる必要があると思われる。 ・宿題だから・・・小テストがあるから・・・と他律的に学習している生徒が大半だと思います（高校生なら普通かもしれません） ・生徒による。大半の生徒は小テストの勉強すらあまりしていないように思う。 ・家庭学習の習慣がない生徒が多いので、どのようにすれば定着するかについて、知恵を出し合う必要がある。 ・家庭学習のための課題を与えていることが多いが、家庭学習の習慣が身につくところまでは至っていないと感じる。課題の出し方や課題でないところで自ら学ぶ姿勢の評価ができる取り組みを考えていきたい。 ・勉強の仕方から教える（四則演算や国語の辞書引きなど）、検定など近い目標を設定してあげる、英検weekのようにイベント化する、等いろんなアプローチを考える必要があると思う。 ・ゆめいくや各種講演会で、1人や2人でも知的好奇心を刺激して、学びを深めたいと思えるきっかけになればよい。 ・食事、睡眠、学習時間など、生活リズムを整えるよう家庭にも協力が必要に思います。	・家庭学習は本人の意思と環境が整っていないと難しいので、小さな目標を重ねていける指導をお願いしたい。 ・共通の課題では1人1人の学習能力に合わないことがあるのではないかと感じる。難しいかもしれないが、個々の能力にあった課題を出せば主体性を生むことにもつながるのでは。 ・生徒が授業内容について発表する機会を持てるようにすることも必要だと感じる。 ・自ら目標を定めて家庭学習を行うようにすれば個々の成果が上がるのでは。
⑤進路希望の実現	・ 進路実現のためのカリキュラム設定	3.7	3.8	3.8	・進路指導については、キャリア教育部が定期的に行事組んでくださっているので、生徒が自身の進路を意識する機会が多いと思う。 ・専門部と学年が連携し、進路ガイダンスやキャリア別説明会、職業見学など、生徒の進路への意識を高めるための行事が行われている。 ・進路実現に必要な学力の育成には課題がある。中学までの基礎学力を定着させる必要がある生徒が多い。 ・今いる生徒と次からのカリキュラムにミスマッチがあるように感じる。 ・画一的な指導の場面があるため、生徒の個々の実情に合った体系的な指導体制ができればと感じる。 ・ゆめいくの活動を進路実現につなげたい。	・進路指導はよい評価が出ているので、継続してほしい。 ・生徒が将来但馬に戻ってきてほしい。生徒が地元で学び、都会に進学して得た知識をまた地元で生かす様なキャリアビジョンを持てる指導をしてほしい。
	・ 進路指導の充実及び家庭への適切な進路情報の提供	4.0	4.2	3.8	・面談を通して、保護者と生徒の考えを確認したり、情報提供を行ったりしている。 ・卒業時の進路だけでなく、生涯を通じたキャリア意識を持った上で進路選択を行えるよう促したい。 ・少人数なこともあり、ひとりひとりの進路についてたくさん先生方が時間をかけて考えられる環境がある。 ・キャリア教育部には大変お世話になりました。 ・進路実現に向けて何度も面談を重ね、家庭との連携も適切にとれたと思う。 ・生徒の進路実現に向けて丁寧に指導されていると思う。	・進路実現に向けて適切に行動されていると感じる。
	・ キャリア教育の推進	4.0	4.2	4.0	・キャリア教育は朝来市などの協力も得て、かなり積極的に取り組んでいる。一方、事前指導や事後指導、3年間継続したLHRでのキャリア教育について、組み立てていく必要があるのではないかと感じる。 ・進路LHRの在り方やキャリアパスポート・キャリアノートの活用を図り、系統だった進路指導を展開しなければならないと考える。 ・LHRが学年に任されていることが多いので、専門部の力を借りたい。 ・学年企画する進路行事が少ないと思います。キャリア教育部に頼りながらも、大学見学会や企業訪問会など学年出発の進路行事があってもいいと思います。	
⑥ 教職員の資質の向上	・ 授業の工夫改善及びわかりやすい授業の確立	4.1	4.2	4.0	・各教員が授業改善について、気軽に相談し合っている。ベテランの教員からもっと学びたい。 ・生徒の資質能力に合わせた授業展開がなされている。 ・パワーポイントなど使用を頑張ってみました。 ・ICTを活用するなど、各先生方が工夫して取り組まれているように感じる。 ・生徒の実情を見て、授業を工夫されている先生方が多い。特に若い先生方の、ICTを活用し工夫された授業から学びたい。 ・iPadやプロジェクタなど、新しい機器もすぐに使える環境が整い、ありがたい。工夫・改善も進んでいると思う。 ・ICTやプリントを効果的に活用してわかりやすい授業をされている先生が多いと思う。 ・生徒の能力に合う授業をそれぞれの先生がしっかり考えていると思う。 ・公開授業週間などを設けて、お互いの授業力向上に努めていると思います。 ・他校の先生の授業を参観しに行きたいです。専門教科・科目の相談できる先生がほしいです。 ・ICTをうまく使えていないので、有効に使えるよう教材研究していきたい。	・民間の進学塾のノウハウを参考にして取り組んでほしい。 ・ネットの発達により生徒の知識の幅も広がる中で、教員も学び続けることが必要だと感じる。頑張ってください。 ・業務改善も含めてICTの活用による授業力の向上を図ってほしい。

分 野	価 内	評価			学校の取り組み状況・改善の方策	学校関係者評価
		R6	R5	R4		
⑦ 開かれた学校づくり	・ 家庭への連絡及び情報の積極的提供	4.0	4.0	4.2	・ホームページがリニューアルされ、学年通信を掲載するなど、有効活用できている。 ・家庭連絡手段について、非同期の連絡手段を使用するなど様々なニーズに応えられるよう対応できればと考える。 ・きずなネットは休校などの緊急連絡に使うものかと思っている。HPときずなネットの区別があったほうがいい。 ・今後は「きずなネット」も更に活用し、こちらから情報提供しているというスタンスを明らかにし、受動的な保護者にも情報を届けたい。 ・きずなネットで学校の予定を配信するのはよいと思う。紙の学校通信もよいがどこまで保護者の手にわたっているか。 ・生徒への配布物だけでなく、ホームページやきずなネットを利用し、確実に家庭に情報が届くように努めている。必要に応じて家庭連絡を行っている。 ・きずなネットが来年から有料になるので、さらに積極的な活用が必要だと思う。（各月の行事予定、考査や模試の予定など） ・生徒向けにはGoogleクラスルーム等でこまめに連絡していただいていると思います。	・紙の学校通信は保護者に伝わりにくいので、ネットを積極的に活用してほしい。 ・青年会議所としてゆめいくの活動に参加させていただきました。地域と学校のつながりは重要だと感じるため、今後も積極的に関わらせてほしい。 ・地域の方の協力を得ながら積極的に学校開放してほしい。 ・親に連絡を伝えない生徒が少なからず見られる。生徒・保護者・学校の三者で同時に連絡を共有できないか。 ・HPの更新も頻繁にあり、情報共有ができていていると感じる。
	・ 地域との連携を図った行事の実施	4.0	4.2	4.4	・探究活動だけでなく、職業体験や地域の文化祭に参加するなど、地域と連携して行事を行えている。 ・探究活動を通して、地域との交流ができていていると思います。 ・地域との連携はゆめいくもありとてもすごいと思う。 ・探究活動で生徒と地域をつなぐことができなかったのは、反省点である ・部活動や学年単位でが、まちづくり部として、地域のイベントやお祭りにボランティアとして参加している。 ・中学生とコラボした行事があってもいいと思う。	
⑧ 安全安心な学校生活	・ 校内の環境整備の適切な実施	3.5	3.7	4.0	・各教室が整理整頓ができていないように感じる。教員一人一人が意識して指導していくべきでは。 ・感染症対策として換気の周知徹底など、熱心に取り組んでくださっている。一方、雨漏りなど、生徒の安全に関わるところが修繕されないままになっている。 ・老朽化に伴い、破損・損傷箇所が多いように見受けられる。修繕は随時行っていたが、なかなか全てに対応するのは困難な規模である。 ・校内の環境整備は、事務室を中心に最大限行っていたが、なかなか全てに対応するのは困難な規模である。 ・教室に二酸化炭素濃度を測定する機器を設置し、換気を促している。 ・雨漏り・寒さ対策・日没対策などをもう少ししたい。 ・廊下の湿気だけは危険だと思いますが、どうにもならないものでしょうか？ ・暑さ・寒さ対策や感染症予防に配慮した換気など、配慮されていると思う。 ・化学教室を見たときすごく汚かった。心身の状況の把握はできていないけど、難しいから多分できるだけの事はしている気がする。 ・教室の換気は必要だが、四隅の窓際の生徒がとりわけ寒い思いをしている。冷たい風が直接生徒にあたらないよう、何かできる工夫はないでしょうか。 ・教室や廊下の壁のペンキがはがれていたり、教室後方の掲示板が下地がむき出しになっていたり、教室廊下側の窓枠(木のサッシ)に落書きが彫られていたり、ポロい部分が出てきています。細かな修繕をお願いしたいです。（校務員さんだけでなく、長期休業中なら教員も手伝えらると思います） ・設備の修繕等、日々行ってくださっているが、規模的に追いつかないと考える。現状、特に特別棟・旧体育館の雨漏りが気になる。 ・防災訓練も実践的な形になってきている。 ・生徒の引き渡し訓練、授業中の予告なしの訓練や、地域住民が参加する防災訓練が必要。 ・防災訓練や追悼行事を通し、防災への意識を高める行事が実施されている。	・校内の整備環境は、定期的にきめ細かく取り組んでほしい。 ・今後も防災訓練を継続的に実施すべき。その際、災害の恐ろしさや災害時の体験をできるだけ身近なものとして生徒に伝えられる取組が必要だと感じる。 ・設備の老朽化が目立つ。環境整備に力を入れてほしい。 ・老朽化等、改修が必要な点に関しては、定期的に県に要望し続けてほしい。 - いじめや心のケアに関して、保護者の要望に答えられていると感じる。 ・ハード面の要望はかなり多いように感じる。引き続き県に要望していく。
	・ 防災や生徒の安全への配慮	3.6	3.7	3.7		
	・ 生徒の心身の状況把握及びいじめ等の予防への対処	4.0	3.7	4.1	・いじめの予防に関しては、各教員が迅速な対応をしていると思う。 ・いじめや、生徒の悩みに対し、教員間で連携して対応しているが、声を上げていない生徒もいるように思われる。特に家庭における悩みごとへの対応が難しいように思う。 ・いじめ防止や心のケアなどに関する講演会が多かった。生徒も教師もいろんなテーマで考えを深めることができた。	
⑨ 働きがいのある学校づくり	・ ワーク・ライフ・バランスや働きがいのある職場づくり	3.9	3.9	3.9	・ワークライフバランスは整っている。不調等の補助も人数が少ないながらもカバーできている。 ・ワークライフバランスの取れた良い職場だと思います。 ・幸か不幸か部活動がそれほど盛んではないので昔よりは余裕が持っています。 ・仕事と家庭の両立ができるよう、配慮していただいている。ほかの先生方に部活動等で負担が偏っていて、心苦しい面がある。 ・働きやすく、同僚同士で話し合ったりしやすい職場だと思います。 ・教員間のコミュニケーションが活発で、同僚性の高い職場だと思います。 ・年休取得の推進と共に、定時退勤日を設定してはどうか。 ・周りの先生や生徒たちが面白いから楽しく働けているものの、職場環境づくりがしっかりされているかと言われると微妙。 ・一部の教員に負担が集中しているような場面が見受けられる。各種委員会を適切な時期に開き、余裕を持った進行をするのがよい。 ・先の見通しが立つような、授業・行事計画を早めに出してほしい。直前になって、のことが多い。 ・部活動、授業などは働きがいがあると感じることはある。それを除いては働きがいがあると感じることはあまりなかった。	・ワークライフバランスは教育の質に直結するので、しっかり取り組んでほしい。 ・良い職場づくりに取り組んでおられると感じる。（一方で時間外勤務が常態化している先生がおられないか心配している。）

全体を通してお気づきのことがあればお願いします。

・小規模校ならではの良さを全面的に取り入れてほしい。

・ネットの発達する現代において、学校教育はどんどん更新されており、日々新しい教育が求められるようになっていくように感じる。日々業務は大変だとは思いますが、新しい手法・教育を学び続けていただきたい。また、生徒の情報リテラシーについても気を付けて指導してほしい。今後とも協力させていただきたい。